

2018年コンテスト総評

本年もメイクランド施工写真コンテストに数多くの作品をご応募くださり誠に有難うございました。心より厚く御礼申し上げます。皆様の力強い作品を目の当たりにすることでエクステリア&ガーデン業界のレベルアップを感じ、より良い住まいの提案と実現が行われていることを実感致しました。これからさらに外部空間の演出や暮らし方が具現化され本来の価値が明確になることは不可欠となっていくことでしょう。更なる素晴らしい作品が増えますことを心より願っております。

審査員を代表して本年のコンテスト総評を述べさせていただきます。

門まわり・車庫まわり部門：現在主流となっているオープンスタイルの作品が多く見受けられました。そのファサードデザインでは開放的な装いを持つフロントガーデンとして住まいの空間と実用の空間をいかに組み立て見える演出の考え方や魅せ方が作品のポイントになっていくことでしょう。セットバックされた演出壁のモニュメント化と緑視率の高い植栽計画のコラボレーションが主役となり、動きのある構成や存在感のある意匠性が求められるものとなっていました。床面の装飾演出も欠かせないポイントで単調にならない工夫として多彩な自然石材舗装の活用や起伏をつけた砂利舗装による動き、環境を捉えた緑化舗装なども特徴の一つになっていました。シンプルな構成ほど樹木が持つ特徴的な立ち姿も演出に加えながら立体的なファサード空間を作り出すことが今後重要になっていくでしょう。

庭まわり部門：プライベートガーデンという独立した空間の活用法をしっかりと明確に表した作品が多く見られるようになってきたように思います。庭での過ごし方として大切なことは、見せる空間と楽しむ空間を検討し、室内の空間コンセプトに合わせた特徴が表現されることが今後必要とされていくでしょう。自然体の柔らかな空間となるよう植栽と自然石による美しい景色を飾るような作品、または庭の中で人が集い楽しめるような設えのある作品、たまり場のある園路など。意匠性やコンセプトの方向は様々ですが滞在する楽しさを表現した庭が多くなったことから、今後は内外の連続性が重要視された住まい提案が加速するよう感じられました。

エクステリアリフォーム部門：今後もっとも注目されるであろうこの部門では、目的が曖昧であった空間を時代ニーズに合わせて、修復ではなくリノベーションを行って、住まい手が本来欲しかった目的を提案する作品が多くなった傾向が目立つように感じました。ウッドデッキのテラスのみならず周囲の目隠しによって効果的に活用される外の部屋作りや明確なスタイルを実現したガーデンスペース作りなど利用価値を表現することで楽しい庭の暮らしが伝わってくる作品が評価される時代になってきたとも実感しております。今後の作品作りには活用法の提案は欠かせないものであり、テーマ性も鍵となり、更なる期待の注目すべき部門となることでしょう。

ナイトシーン部門：屋外である利点を生かした照明による効果的な演出でシーンの変化をデザインに取り込み、時間による移り変わりやその提案は今後の外部空間設計に不可欠なエレメントとなっていくことを実感しました。自然石の特徴による凹凸に厚みの変化や樹木の映り込みなど自然ならではのデザインが加えられ、陰影による変化が昼間には見えてこなかった庭ならではの効果を生むことや、中庭に設けられた照明により部屋から眺める窓先空間の光の装飾は昼と夜の景色を眺め居心地の良い空間となっていることでしょう。作り上げた空間に明かりが灯ることでプラスの価値が加えられ楽しみを提案した作品がさらに増えることを願っています。

パブリック・街並み部門：分譲住宅や商業施設など規模の大きさによる強みを生かし、景観を意識した様々な使い方を明確にした作品が増えたように思います。個人住宅では叶わない連続した設計コンセプトや多くの人々が行き交う空間での自然空間の提案と装飾など、使用目的は違えど街並みをテーマにしたデザインが、今後重要視されても良いと感じさせるものでした。特に企画側の提案によって構成されるのが大規模物件の良さであり明確に表せることがポイントになるので、設計者の力量が求められることでしょう。実現させる力と実施する力を評価したいと思います。そして敷地一体化設計という新たな取り組みを試みて、建築とエクステリアの連動がなされ計画されるトータル提案作品が今後増えていくことを期待したいと思わせる部門でもありました。

以上、これらの優秀な作品が今のエクステリアデザインの方向性を明確に表わされたコンテストであったと実感しております。特に天然石の採用が中心となり素材が持つ特徴的な演出が行われることや、意匠が施された構造物と自然樹形の緑とのコラボレーションで柔らかな演出作品が増えたことも印象的でした。フロントガーデンの扱い方の上手さが向上した作品が増えることを期待しております。そして、次回コンテストでも住まいの価値を向上させた外部空間デザインが備わった作品が数多くご応募頂けるよう心より願っております。